

## は じ め に

地方衛生・公害研究所は、地方レベルでの衛生行政、環境行政の技術的中核として位置づけられ、行政担当者に対して、施策の立案と評価をより適確なものとするうえで重要なデータや情報を作成、提供する役割を与えられていることは申しあげるまでもありません。

近年における科学技術の目覚ましい進展と社会経済の激しい変化並びにこれらと密接に係わって変化する県民の生活のあり方と意識は、衛生、環境の両分野においてもそれぞれ多くの困難な課題を生んでおり、新たなかつ迅速な対応を行政に求めております。

この年報は、61年度1年間の研究所の活動状況をまとめたものですが、関係各位におかれましては、前述のような変化に即応し、与えられた役割を果たしているか、という点について厳しく点検して下さいますご批判、ご指導をいただければ幸甚に存じます。

昭和62年10月

新潟県衛生公害研究所長 佐藤 廣 治